

## 教育研究業績書

区分ごとに年月日順に  
並べて記入してください。

主要業績				
研究業績等に関する事項				
著作、学術論文 作品等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の 年月日	発行所、発表雑誌 等、又は発表学会 等の名称	概 要 (各著書・論文・作品等ごとに 200字以内に記入する)
著書※ 近代日本の美術	共	平成〇年 6月10日	〇〇出版社	共著者 〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇 (本人執筆部分のタイトル、概要) 〇頁～〇〇頁
西洋美術史辞典	監修 編集	平成〇年 7月16日	〇〇〇図書	分担執筆者 〇〇〇〇、〇〇〇〇、他〇名 (概 要)
日本絵画史	単	平成〇年 3月8日	〇〇書房	(概 要)
学術論文※ 古い造形の中に見る 「新しき」について	共	平成〇年 9月2日	〇〇〇学会誌 第〇巻第〇号	共同執筆者 〇〇〇〇、〇〇〇〇、他〇名 (概 要) 〇〇頁～〇〇頁
三代院政期における 下流貴族層の研究(査読付)	単	平成〇年 10月30日	〇〇大学紀要 第〇〇号	(概 要) 〇〇頁～〇〇頁
翻訳※ Alfons Deeke n 著 「旅立ちの朝に」	単	平成〇年 12月1日	〇〇〇出版社	(概 要)
研究発表※ 調査報告「首都圏の再開発 と自然保護」	共	平成〇年 3月8日	日本環境会議 第〇〇回大会	共同研究者 〇〇〇〇、〇〇〇〇、 〇〇〇〇、〇〇〇〇、他〇〇名 (概 要)
団体展※ 「有明海の夜明け」	単	平成〇年 7月15日	第〇回〇〇展 〇〇〇美術館	油絵F100号、〇〇〇〇賞受賞 〇〇美術館収蔵 (必要に応じて作品の概要を記入する)
個展※ 「ゆらぎ」(代表作品名)	単	平成〇年 4月28日	第〇回個展 〇〇〇画廊	油絵F20号、他10点 (全体のテーマや作品の概要について必要に 応じて記入する)
グループ展※ 「回想 I」他	単	平成〇年 10月1日	ギャラリー 〇〇〇	油絵F50号、他4点 共同出品者 〇〇〇〇、〇〇〇〇 (必要に応じて作品の概要を記入する)
収蔵(買上等)※ 「ポーズ III」	単	平成〇年 1月20日	〇〇県〇〇市 市民会館ホール設置	彫刻・等身立像 (必要に応じて作品の概要を記入する)
デザイン※ 作品制作・企画・設計等 〇〇ポスターデザイン	単	平成〇年 4月10日	〇流通センター	平成6年度〇〇物産展ポスター (必要に応じて作品の概要を記入する)
〇〇パッケージデザイン	単	平成〇年 7月5日	〇〇食品工業	(商品名、概要等について記入する)
〇〇ボディーデザイン	共	平成〇年 9月1日	〇機械製作所	共同制作者 〇〇〇〇、〇〇〇〇、他〇〇名 (商品名、概要等について記入する)
〇〇オフィスプランニング 色彩計画	共	平成〇年 9月～7月	〇〇省〇〇局 〇〇課事務室	〇〇㎡ (必要に応じて概要について記入する)
「〇〇アートホール」設計	単	平成〇年 12月1日	〇〇百貨店	平成3年度〇〇〇学会賞受賞 (建物の概要について記入する)
その他(上記以外のもの)				

(※一見出し)見出しは各区分の最初の  
項目にのみ記入してください。

(注) 1 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。

## 「教育上の能力に関する事項記入例」

### 1. 教育方法の実践例

本学の正課授業内外において、学生の理解を促し、教育効果を高めるために工夫を凝らした教育方法や、学外機関との連携を伴う教育方法を実施している場合に記載いただく事項です。

概要欄には下記を含めて入力してください。

- ① 教育方法を実践した教育機関等名（大学名等）
- ② 授業科目名
- ③ 独自に開発した教育方法や工夫の具体的な実践例
- ④ 実践したことによる効果・成果

### 2. 作成した教科書、教材

授業で使用する教材を含め、ご自身が制作または制作協力した出版物等があれば記載いただく事項です。

作成した教科書・教材・スライド・ビデオ、講義で教科書として使用している著書、教材等。授業を行うに当たって学生の理解を促し、教育効果を高めるために工夫した教材も記載いただけます。

事項欄は、教科書、教材の名称を入力してください。

概要欄は、下記を含めて入力してください。

- ① 当該教科書・教材の作成、使用の具体的な内容とその効果
- ② 当該教科書・教材を使用した授業科目の名称

### 3. 教育上の能力に関する大学等の評価

本務校の自己点検の評価結果や本学・他大学で実施している授業の学生アンケート評価の結果などを、数値と共に紹介いただく事項です。

### 4. 実務の経験を有する者についての特記事項

実務家教員（大学以外の企業・施設等において専門職として従事した実務歴が業績の中心となる方）の先生で、本務と本学授業の連動性など特記する事柄があれば記載いただく事項、または担当授業に関連する学外機関・企業との連携実績などがあれば記載いただく事項です。

- ・大学から受け入れた実習生に対する指導歴（企業実習、看護・福祉実習等）
- ・大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演など
- ・訴訟、審判、監査、与信、企業提携、研究開発等の専門的な実務に関する教育、研修
- ・その他、所属機関や関係機関等において行った講義、講習、講演、職員・関係者に対する指導、海外等における留学、調査研究経験 など